

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和5年4月～6月)

回復が遅れていた製造業と建設業で、大幅に景況が改善。各業種では採用難が深刻化している。物価高騰の終息が見通せないこともあり、次期は回復の勢いが一旦弱まる予想。

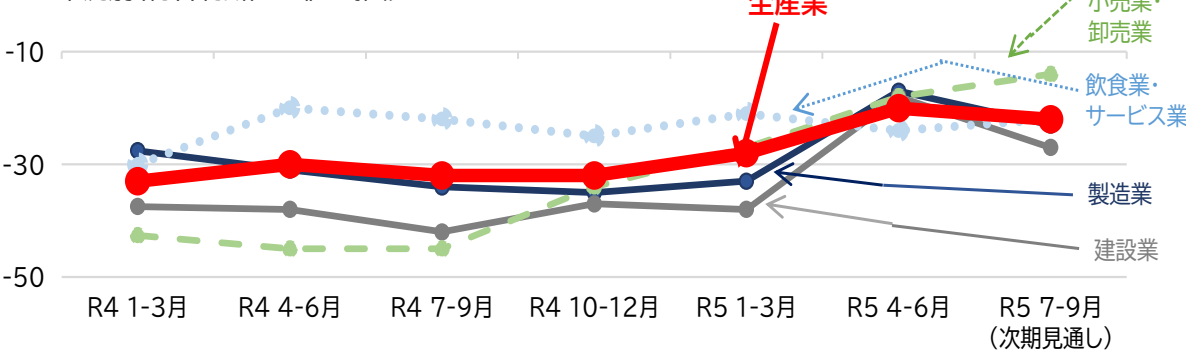
ポイント

- ▶ 令和5年4月～6月期の総合業況DIは▲20と、前期▲28から8ポイントの改善で、すべての業種が「小雨」となった。製造業(前期▲33・今期▲17)と建設業(前期▲38・今期▲18)は大幅に改善した。小売業・卸売業(前期▲27・今期▲18)も改善。飲食業・サービス業(前期▲21・今期▲24)は若干の悪化。
- ▶ コメントによると、全業種で消費行動が明らかに良くなってきているようである。製造業や建設業では、仕入・資材、電気料金の高騰が続くが、価格転嫁は難しいという声が多い。小売業やサービス業では、人材不足・採用難を課題に挙げる事業者が多い。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲22と、今期▲20からマイナス2ポイントでほぼ変わらず、「小雨」が続く予想。小売業・卸売業(今期▲18・次期▲14)は改善が続く見込み、飲食業・サービス業(今期▲24・次期▲22)は今期並み。今期大幅に改善した製造業(今期▲17・次期▲23)、建設業(今期▲18・次期▲27)は、小幅の悪化に転じる予想である。

各業界から寄せられたコメント

- ・【各種製品の加工、検査及び包装】マスク着用が任意になり、インバウンドも増加し、取扱い製品である化粧品が伸び売上が増加しているが、作業・在庫スペース、設備が不足気味。
- ・【リフォーム業】お客様の消費行動が上向いているという実感がある。
- ・【24時間風呂・マイクロバブル発生器販売・保守】人の動きが多くなり、業務用の機器の動きが良くなる一方で、個人向け機器の販売が思わしくない。
- ・【ビジネスホテル】人員不足の解消が難しい。光熱費の急激な値上げなど読めない要因が多い。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R4.4-6)	前々期概況 (R4.10-2)	前期概況 (R5.1-3)	今期概況 (R5.4-6)	次期見通し (R5.7-9)
製 造 業	▲ 31	▲ 35	▲ 33	▲ 17	▲ 23
建 設 業	▲ 38	▲ 37	▲ 38	▲ 18	▲ 27
小 売 業 卸 売 業	▲ 45	▲ 34	▲ 27	▲ 18	▲ 14
飲 食 業 サ ー ビ ス 業	▲ 20	▲ 25	▲ 21	▲ 24	▲ 22
全 (総 合)	▲ 30	▲ 32	▲ 28	▲ 20	▲ 22

業況天気図凡例				
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～10	DI値 11～30	DI値 31以下

調 査 期 間 : 令和5年4月1日～6月30日
回 答 率 : 17.1% 回 答 者 数 : 637件
調 査 対 象 : 当所会員事業所3,716事業所

＜＜景気観測調査＞＞
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。